

## 令和元年度北海道科学技術賞受賞者功績概要

氏名	東 信良（58歳）
所属・職名	旭川医科大学 外科学講座 血管・呼吸・腫瘍病態外科学分野 教授
<p>&lt;功績名&gt; 「緊急を要する血管疾患に対するクラウド型遠隔医療の確立」</p> <p>&lt;功績の内容&gt; 大動脈瘤破裂やA型急性大動脈解離などの急性大動脈疾患は、一刻も早い治療（外科手術あるいは血管内治療）が必須の救急疾患である。迅速に手術を開始できれば高い救命率が望めるが、広大な北海道で、急性大動脈疾患を治療できる専門施設は非常に限られており、いかに手術可能な施設にアクセスできるかが問われる。さらに、専門病院への到着から手術開始までのdoor to operation time (DOT)を短くするためには、正確な術前情報が不可欠である。</p> <p>氏は、クラウド型遠隔医療に着目し、遠方の中核病院で撮影したCT等画像を圧縮し、クラウドに送信し、専門病院の心臓血管外科専門医がクラウド上の画像をみて、手術適応や術式、デバイスのサイズなどを患者到着前に決定して、病院到着後直ちに手術を開始するシステムを大動脈救急疾患に応用し、その臨床応用を確立した。クラウド型遠隔医療を大動脈救急疾患に応用したのは世界初であり、さらに、この技術を他の血管疾患（急性及び慢性下肢動脈閉塞、静脈血栓塞栓症）や小児外科領域などの専門医の非常に少ない外科領域に応用し、適応を拡大した。</p>	